この日本語文は、あくまでも参考にして頂くために用意したものであり、正式な書類は英語文です。

行動規範

スティーブストン日本語学校（SJLS）は、全ての生徒、 スタッフ（教師、オフィス・スタッフ）並びに学校関係者に安全且つポジティブな教育の場を提供する義務があります。

このためには、学校内だけなく学校に関連する場での行動規範が全員に適用されます。

共に学び、活動するにあたり、私たちは：

1．教師、生徒、その他学校コミュニティの人々を尊重します。
2．安全で、思いやりがあり、礼儀正しい振る舞いをします。
3．学校コミュニティの多様性を尊重します。
4．人種、肌の色、家系、出身地、宗教、婚姻状況、家族構成、身体的または精神的障害、性別、性的指向、ジェンダー・アイデンティティまたはジェンダーの表現、年齢などに関係なく他者を尊重し、公平に接します。
5．学校コミュニティの誰にでも、攻撃的で罵倒するような言い方をしたり、印刷物や電子メディアを使って脅かしたり、怯えさせたり、暴力を振るったりしません。
6．学校内には、武器、危険物、アルコール類、薬物を持ち込みません。
7．スティーブストン日加文化センターの建物と学校の所有物や備品を 大切に扱い、それらに敬意を示します。（大切に扱う気持ちを持ちます）
8．学校内での禁煙の規則を尊重します。

これらの行動規範への違反行為には、介入指導、懲戒措置を取ることになります。

生徒への期待

行動規範に示されているように、生徒たちは、教師、スタッフ、他の生徒、保護者、学校コミュニティのゲストに敬意を示すことが求められています。悪口を言ったり、ののしったり、叩いたり、押したり、無礼な表情をすることは許されません。

生徒の行動により、教師が、安全かつ有意義な学習環境を提供することが困難もしくは不可能になるような場合は、以下の措置が取られます。

1. アダルトクラスの生徒または生徒の父兄（保護者）に、行動規範を破ったという最初の書面による通知をします。

2. 最初の通知後、問題が解決されない場合は、アダルトクラスの生徒または保護者は二度目の通知を書面にて受け取ることになります。子どもの場合は、さらに教師と校長はその保護者を積極的に巻き込んで、生徒の態度を改めるために、何らかの改善策を立てることになります。

3. 学校側はアダルトクラスの生徒または保護者と協力して、出来うる限りの努力をいたします。しかしながら、これらの努力の後も生徒の態度に改善が見られない場合は、その生徒に学校を辞めるように求めます。SJLS は、行動規範を繰り返し破る生徒を退学処分する権利を保有します。

保護者への期待

- 生徒が学校の行動規範に従うように励まし、サポートすること。
- 生徒が日本語とその文化を学ぶ教育の場でのパートナーであり、積極的に関与すること。
- 生徒の進捗状況と振る舞いについて、教師と率直で継続的な対話の機会を設けること。

ボランティアと理事会員への期待

容認できる、あるいは容認できないとされるすべての行動を挙げることはできませんが、以下は、期待される行動や行動の一部です。

- 尊敬、尊厳、公平性をもって他者と接すること。
- 排除を強要したり、推測させるような行為を避けること。
- 誠実で信頼できる、倫理的な行動をとること。
- 該当する場合は、適切なオフィスエチケット（時間厳守や会議の十分な準備など）を守ること。